

資料提供	
令和3年2月16日	
担当 (担当者)	県立図書館 (佐藤・藤原)
電話	0857-26-8155

## 遠藤董没後75周年記念 特別資料展と郷土文化講演会を開催します

遠藤董(えんどう ただし)は、鳥取県出身の教育者として、初等教育、女子教育に尽力し、後年には、障がい者教育の進展に身をささげた人物です。また、県内初の公共図書館の設立、県内への洋画の受容など、鳥取県の教育・文化の発展に大きな貢献をなしました。

今回の資料展は、没後75周年を記念し、遠藤董先生顕彰会の後援を得て開催いたします。展示では、特に遠藤の前半生を内容とし、関連行事として郷土文化講演会も開催します。是非、取材して下さるようお願いします。

### 1 資料展の名称 「郷土文教の源流 遠藤董ー若き日のすがたー」

### 2 展示内容

- (1) 遠藤董の生まれた町 (2) 藩校教育と遠藤 (3) 近代教育との邂逅  
(4) 県再置と遠藤 (5) 遠藤が遺したもの

<主な展示資料：約70点>

- ・遠藤編集の画学教科書『鳥根県小学用画学階梯』(複製、教育図書館原蔵)  
(明治12年発行) ←初公開
- ・水彩画「こともし」(鳥取県立博物館蔵)、日本画「日本赤十字社徽章之図」  
(鳥取県立博物館寄託)等の絵画資料13点
- ・古記録(江戸時代の藩政資料、学館日記、鳥取県立博物館蔵)
- ・特定歴史公文書等(複製、鳥取県立公文書館蔵)



「こともし」(県立博物館蔵)

### 3 会期

令和3年2月5日(金)から3月10日(水)まで(うち、休館日：2月11日、2月28日)  
開館時間：午前9時～午後6時30分(土、日、月曜日及び祝日は午後5時まで)

### 4 会場 鳥取県立図書館 2階 特別資料展示室

### 5 関連行事

郷土文化講演会「トークセッション 遠藤董のすがたを求めて」

- ・日時：令和3年2月21日(日)午後1時30分から午後3時30まで
- ・会場：鳥取県立図書館 2階 大研修室
- ・演題：「トークセッション 遠藤董のすがたを求めて」
- ・講師：北尾泰志 氏(鳥取県地域史研究会会員・元鳥取県立図書館副館長)  
竹氏倫子 氏(美術史研究者、元鳥取県立博物館主任学芸員)  
中田裕子 氏(元鳥取県立鳥取聾学校教諭)

※要申込(定員：50名)、手話通訳・要約筆記あり、とっとり県民カレッジ連携講座

### 6 その他

新型コロナウイルス感染状況によっては、当日であっても中止または延期することがあります。

#### 遠藤董(えんどう ただし)

嘉永6年1月22日(1853.3.1)～昭和20年1月22日(1945.1.22)

鳥取藩御弓徒の遠藤重嘉の子として、鳥取城下作事方割場屋敷(現鳥取市現材木町)に生まれる。

12代藩主池田慶徳の藩校改革をうけ、8歳で入校。

苗字付から御儒者となった坂田潤蔵を師とし四書五経を、藩絵師根本幽峨を嗣ぐ雪峨を日本画の師とした。

近代初期の学校教員となり、官立広島師範学校で欧米の教授法を学び、帰県後は鳥取県の後進を指導。

高等小学校、女学校、盲聾学校、図書館の設立、運営に尽力し「郷土文教の源流」と評される。

また、高橋由一に学び、鳥取県の西洋絵画の受容に功績があり、明治12年には小学生向けの教科書「画学階梯」を編集する。

遠藤の前半生は、幼少期に儒学によって「徳」を知り、青年期には欧米の新知識をいち早く体得して、教職者として、また郡役所書記として郷土文教の近代化に邁進した時期であった。